

✂ 誤解の謎を解く：では、どうしてこんなことになっちゃったのか？

結論から言うと、これは誰かがサボったとか、間違ったとか、そういう話ではありません。
もっとやっかいで、もっと人間的な理由です。

👤 時代の話です

ロータリーが生まれたのは、約100年以上前のアメリカ・シカゴ。
ビジネスの不正が横行し、「信用できる商人」が希少だった時代です。
そこで生まれたのがロータリー。

- 👤 「信用できる職業人同士でつながろう」
- 👤 「ちゃんとした仕事をするのが、社会貢献だよ」

という、かなり現実的でドライな発想でした。
(意識高い系サロンではありません。ガチの実務集団です)

🇯🇵 一方その頃の日本...

日本にロータリーが入ってきたのは、今から約100年前。
明治維新からまだ50年ほど。

ちゃんまげは切ったけど、頭の中はまだまだ武士道の余韻たっぷり。

- 滅私奉公
- 忠義
- 自己犠牲は美德

👤 「自分を抑えて組織に尽くすのが立派」
そんな価値観が、社会のど真ん中にありました。

📄 そこで起きた“翻訳事故”

アメリカ産ロータリーを日本に持ってくる時、当時の先人たちは頭を抱えました。

SERVICE ?
FELLOWSHIP ?
「いや、そんな日本語ないんですけど...😓」

悩みに悩んで出した答えが、

- SERVICE → 奉仕
- FELLOWSHIP → 親睦

結果どうなったか。

- 👤 (職業で社会に価値を出す) SERVICE が
- 👤 (自分を犠牲にして尽くす) 奉仕 に変換され、
- 👤 (志と倫理を共有する仲間) FELLOWSHIP が
- 👤 (仲良くすること) 親睦 に変換されました。

悪気ゼロ。
でも、意味は別物。

👤 さらに追い打ち「寛容の精神」

本来の Tolerance は、

- 👤 それぞれが責任を果たした上で
- 👤 違いを尊重し合う

という、プロ同士のルールです。

ところが日本では、

- 👤 「不慣れなので寛容の精神で...」
- 👤 「まあまあ、今回は大目に見ましょう」

という免罪符ワードに進化。

こうして、

- 奉仕 = 汗をかくこと
- 親睦 = 仲良くすること
- 寛容 = 甘くすること

という、ゆるゆる三点セットが完成しました。

✂ まとめて...

誰かが間違えたわけじゃありません。

- 👤 日本の土壌
- 📄 翻訳の限界
- 👤 時代背景

この3つが重なって、ロータリーは日本仕様で“ガラパゴス進化”したんです。
だから今、「みんな誤解している」のは、ある意味当然。

▼ 問題はここからです

- 👤 その誤解をそのままにしておくのか
- 👤 もう一度、言葉の意味を共有し直すのか

日本のロータリーが「仲良くボランティアする集まり」で終わるのか、
本来の意味を理解して「職業人が世界を良くする仕組み」に戻るのか。
その分かれ道に、今、私たちは立っているのかもしれない。

Rotary



HIGASHI-OSAKA EAST R.C.

国際ロータリー 第2660地区 東大阪東ロータリークラブ

CLUB WEEKLY No.2877

国際ロータリー会長
フランチェスコ・アレツツォ

会長 一由 麻里



「私たちらしさを大切に。
私たち独自の行動から生まれる奉仕」
を目指そう！



平和構築と紛争予防月間

例会日：2026年2月12日
(令和8年2月12日)

今日の例会

2026年2月12日

来週の例会

- ロータリーの友ファシリテート
広報委員長 石田 肇 君
- 今日の歌 「奉仕の理想」

- 2月19日(木)
卓話「国税の仕事」
東大阪税務署長 鴨田 摂子 様

- 例会後 田中ガバナー補佐を迎えての
第4回クラブ協議会

- 2月26日(木)休会



会長の時間

一由 会長

2月に入り、異常寒波と言われる様な日本海側をおそった大雪。雪は降るが、雨が降らない。そのために全国各地のダムの貯水率が低下し、場所によっては取水制限に乗りだす自治体も有る、との報道が出ました。大阪も2月8日(日)の午前中雪が舞い、駐車していた車にうっすらと雪が積もっておりました。

さて本日は、田中ガバナー補佐、松尾ガバナー補佐エレクトが訪問され、例会後クラブ協議会の開催となります。そもそもクラブ協議会とはクラブのプログラムと活動、研修について協議するために開かれ、クラブの役員、理事、委員長、委員を含む、全員が参加する会合です。

- ・例会と活動の振り返り
- ・プロジェクトや活動に関する意見やアイデアを出し合う
- ・目標や行動計画を立てる
- ・委員会活動の調整
- ・ロータリーについて学ぶ

年度の半ば(今回は2月)目標の進捗具合の確認や、後半の活動計画の確認を行う。
つまりクラブ協議会の場で、私たちの時間と私たちのお金をクラブの活動にどう使っていくかを、みんなで考え反映させる場であるのです。

東大阪東ロータリークラブ

HP: <http://www.higashiosaka-eastrc.jp>

会長: 一由 麻里
幹事: 新井繁太郎
会報資料担当: 石田 肇
創立: 昭和40(1965)年3月4日
例会場: ホテルセイリュウ
例会: 毎週木曜日 12:30~
事務局: 〒579-8012 東大阪市上石切町1-11-12 ホテルセイリュウ302号室
TEL072-985-0189 FAX072-985-0577 E-mail:higashiohrc@air.ocn.ne.jp



幹事報告

新井幹事

《これからの予定》

- 【1】 本日例会後、田中ガバナー補佐を迎えての第4回クラブ協議会
- 【2】 2/13(金)第3回IM第4組会長・幹事会(金輪会)(一由会長、新井幹事出席)
- 【3】 2/19(木)井上会員邸出前授業(孔舎衛東小学校)
- 【4】 2/24(火)衛星クラブ例会 19:00~
- 【5】 2/25(水)井上会員邸出前授業(石切小学校)
- 【6】 2/26(木)休会

《連絡事項》

- 【1】 本日例会後、田中ガバナー補佐をお迎えしてのクラブ協議会です。2F瑞穂の間Bにて開催いたしますので、速やかに移動をお願いいたします。



出席報告

2月5日

(2/5)の出席者数:24名(0)

ゲスト 2名: 米山奨学生イジヒョン さん
ROTEX 田原 陽二郎 さん
Francis Zachary さん
Skyler Helmich さん
ビジター5名: バリタマンRC 加藤 恭子 様
大阪南RC 伊藤 芳晃 様
池田くれはRC 庄田佳保里 様
大阪西北RC 高士 誠司 様
大阪RC 湯木 尚二 様

2/5 出席率:57.14%

※()内数字は出席免除会員の出席者数
会員:48名(免除6名)

	1/15	1/22	1/29
HC出席	22(0)名	22(0)名	休会
MU出席	2(0)名	2(0)名	
修正出席率	57.14%	57.14%	

ロータリーの3大誤解 — 奉仕・親睦・寛容の精神 —

自称ロータリーマニア兼中長期計画委員長の戸田です🙄

ここ最近、ロータリーの資料を集めてはAIと議論し、気づけばプライベートの大半をロータリーの勉強に費やしていました📖
(自分でも少し引いてます🙄) 昨年、それなりに勉強したつもりでしたが、まだロータリーについてモヤモヤしたままでした🙄🗣️
が!
今回、本気で深掘りしてみた結果——🔍「あ、そういうことか」と腑に落ちた瞬間がありました💡 それは——日本のロータリアンのほとんどが「3つの大きな誤解」をしたまま活動している、という事実です⚠️ 先日の中長期計画委員会でも一部共有しました。さて.....🙄あなたは本当に誤解していませんか?

✖ 誤解①「奉仕」= 汗をかくこと?

日本では、🧹清掃/🏠イベント=奉仕、と思われがちです。
でも本来の奉仕 (Service) の意味は、職業・専門性を通じて社会に価値を提供すること。
自己犠牲でも、無理をすることも、一方通行のボランティアでもありません。

むしろ、🙄👛自分の仕事をきちんとやり、その力を社会に還元する——これがロータリーの奉仕です。

✖ 誤解②「親睦」= 飲み会・ゴルフ?

🍷🍷🍷 もちろん楽しいです (笑)
でも本来の親睦 (Fellowship) の意味は、同じ志・使命・倫理を共有する職業人同士の結びつき。

仲良くなるのが目的ではなく、志を共有した結果として生まれる関係。ここが逆転すると、ロータリーは一気に薄まります。

✖ 誤解③「寛容の精神」= 何でも許すこと?

⚠️ これが最も危険な誤解です ⚠️

よく聞く「不慣れなので寛容の精神で...」——それ、ロータリーの寛容ではありません!!
本来の寛容 (Tolerance) とは、

- 🙄各自が職業人として最善を尽くした
- 🙄その上で、違いを尊重し合う姿勢

最初から免罪符として使う言葉ではないのです!!

🔑 本来のロータリーの順番

実はロータリーには、はっきりした構造があります。

- 🙄👛 職業
- ↓
- 🌍 奉仕 (職業による社会貢献)
- ↓
- 🤝 親睦 (志の共有)

ところが日本では長い時間をかけて「親睦と奉仕」が意味も順番も本来とは違う形で理解されてきました。